



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月13日

上場会社名 株式会社ヤプリ 上場取引所 東
コード番号 4168 URL <https://yappli.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長CEO （氏名）庵原 保文
問合せ先責任者 （役職名）経営管理本部長 （氏名）山戸 一郎 TEL 03-6866-5730
半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 2025年9月16日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期中間期	2,916	10.4	449	66.6	449	66.6	445	0.0
2024年12月期中間期	2,642	12.7	269	170.6	269	190.8	445	750.3

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	34.72	34.65
2024年12月期中間期	34.40	33.95

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期中間期	4,282	2,513	56.2
2024年12月期	4,067	2,188	51.8

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 2,404百万円 2024年12月期 2,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	6.00			
2025年12月期（予想）			—	6.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,200	12.5	750	36.1	730	33.2	830	10.9	63.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	12,971,900株	2024年12月期	12,971,600株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	209,034株	2024年12月期	124株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	12,841,216株	2024年12月期中間期	12,956,508株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	4
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、消費活動の回復やインバウンド需要の拡大等の景気回復の兆しが見られる一方で、物価上昇や円安状況の長引き、また労働人口の縮小による人件費の高騰も顕著になり、先行きが不透明な状況が継続しました。しかし、このような経済環境の中、企業はデジタル化を引き続き促進しており、IT技術を使った生産性や効率化への投資は安定して推移し、当社が属するソフトウェア業界の重要性はますます高まっております。

当社は、「デジタルを簡単に、社会を便利に」というミッションのもと、ノーコード（プログラミング不要）で誰でも簡単にスマートフォンアプリの開発・運用ができるプラットフォーム「Yappli」と、ノーコードで顧客管理ができるシステム「Yappli CRM」を提供しています。

「Yappli」は、従来のアプリ開発における課題を解決し、企業が自ら効率的にアプリを運用できる仕組みを提供することで、より高い成果を生み出せるようになります。一方、「Yappli CRM」は、アプリを起点とした顧客管理を実現し、バックエンドデータの一元管理を支援します。これにより、アプリの開発・運用から顧客管理までを一貫して管理できるため、企業のデジタル活用を強力にサポートします。

さらに、2023年8月には社内利用向けアプリを刷新し、人的資本経営をアプリから推進する新ソリューション「Yappli UNITE」をローンチしました。人的資本開示に向け、EX（Employee Experience）領域に進出し、組織エンゲージメントをアプリで向上させる新たな市場の開拓を進めています。

また、2025年5月には、AI技術とノーコード開発を融合した次世代型のWeb構築プラットフォーム「Yappli WebX」の提供を開始しました。同プロダクトは、アプリ開発で培ったノーコード技術をWeb領域に展開し、企業のWeb運用を内製化することで、アプリとWebの体験をシームレスに統合する統合的なデジタル体験を実現します。

これらの取り組みにより、当社はアプリからWebまでのデジタル接点全体を統合管理する「デジタルエクスペリエンスプラットフォーム（DXP）」へと進化し、多様化する企業のデジタルニーズに対応した包括的なソリューションを提供することで、持続的な成長基盤の構築を進めております。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高2,916,914千円（前年同期比10.4%増）、営業利益449,491千円（前年同期比66.6%増）、経常利益449,351千円（前年同期比66.6%増）、中間純利益445,904千円（前年同期比0.0%増）となりました。

なお、当社はアプリ運営プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末における資産合計は4,282,022千円となり、前事業年度末に比べ214,565千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が126,010千円及び流動資産その他が31,569千円減少した一方で、前払費用が359,821千円及び仕掛品が12,029千円増加したことによるものであります。

（負債）

当中間会計期間末における負債合計は1,768,540千円となり、前事業年度末に比べ110,460千円減少いたしました。これは主に、未払金が37,993千円増加した一方で、長期借入金が113,898千円及び流動負債その他が23,500千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は2,513,481千円となり、前事業年度末に比べ325,026千円増加いたしました。これは主に、自己株式の増加149,977千円による減少があった一方で、利益剰余金が445,904千円、新株予約権が29,048千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ126,010千円減少し、1,833,793千円（前年同期1,803,562千円）となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は138,024千円（前年同期は87,517千円の獲得）となりました。これは主に、前払費用の増加額359,828千円による支出があった一方で、税引前中間純利益449,351千円及び未払金の増加額37,993千円による収入があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により獲得した資金は542千円（前年同期は482,153千円の使用）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入802千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は264,576千円（前年同期は690,529千円の獲得）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出150,726千円及び長期借入金の返済による支出113,898千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年2月13日に「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,803	1,833,793
売掛金	666,615	671,168
仕掛品	21,691	33,720
前払費用	147,744	507,566
その他	31,666	96
貸倒引当金	△15,553	△11,639
流動資産合計	2,811,967	3,034,706
固定資産		
有形固定資産	116,224	108,247
投資その他の資産		
関係会社株式	471,756	471,756
繰延税金資産	434,400	434,400
その他	233,106	232,910
投資その他の資産合計	1,139,263	1,139,068
固定資産合計	1,255,488	1,247,315
資産合計	4,067,456	4,282,022
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,824	20,616
1年内返済予定の長期借入金	227,796	227,796
未払金	320,298	358,291
未払法人税等	1,268	2,419
その他	162,009	138,508
流動負債合計	744,195	747,632
固定負債		
長期借入金	1,134,806	1,020,908
固定負債合計	1,134,806	1,020,908
負債合計	1,879,001	1,768,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,252	51,277
資本剰余金	1,309,407	1,309,432
利益剰余金	748,542	1,194,447
自己株式	△267	△150,244
株主資本合計	2,108,935	2,404,912
新株予約権	79,519	108,568
純資産合計	2,188,454	2,513,481
負債純資産合計	4,067,456	4,282,022

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,642,367	2,916,914
売上原価	877,756	970,417
売上総利益	1,764,610	1,946,497
販売費及び一般管理費	1,494,830	1,497,006
営業利益	269,780	449,491
営業外収益		
受取利息	8	854
受取手数料	88	70
協賛金収入	—	3,000
雑収入	2,404	845
営業外収益合計	2,501	4,770
営業外費用		
支払利息	2,529	4,159
自己株式取得費用	—	749
その他	102	2
営業外費用合計	2,631	4,910
経常利益	269,650	449,351
税引前中間純利益	269,650	449,351
法人税等	△176,068	3,446
中間純利益	445,719	445,904

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	269,650	449,351
減価償却費	10,128	7,977
株式報酬費用	—	29,051
のれん償却額	4,686	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,093	△3,913
受取利息	△8	△854
支払利息	2,529	4,159
協賛金収入	—	△3,000
自己株式取得費用	—	749
売上債権の増減額 (△は増加)	△55,016	△4,553
棚卸資産の増減額 (△は増加)	6,853	△12,029
前払費用の増減額 (△は増加)	△90,291	△359,828
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	3,167	35
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,227	△12,207
未払金の増減額 (△は減少)	33,020	37,993
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,623	△23,500
その他	△28,048	22,962
小計	172,615	132,392
利息の受取額	8	854
利息の支払額	△2,707	△4,152
協賛金の受取額	—	3,000
補償費の支払額	△1,040	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△24,393	5,929
信託型ストックオプション関連損失の支払額	△56,965	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,517	138,024
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,202	—
関係会社株式の取得による支出	△469,466	—
敷金及び保証金の回収による収入	1,254	802
その他	△739	△260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482,153	542
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	764,000	—
長期借入金の返済による支出	△75,000	△113,898
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	48
自己株式の取得による支出	—	△150,726
新株予約権の発行による収入	1,529	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	690,529	△264,576
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	295,892	△126,010
現金及び現金同等物の期首残高	1,507,669	1,959,803
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,803,562	1,833,793

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式208,900株の取得を行いました。この自己株式の取得等により、当中間会計期間において自己株式が149,977千円増加し、当中間会計期間末において自己株式が150,244千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、アプリ運営プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。